

徳島大学における地域連携事業・体制の概要

1. 徳島大学地域連携事業のあゆみ

徳島大学では、平成15年に地域連携推進室を設立し、平成16年度からの第一期中期計画期間において、同推進室を社会連携推進機構の中の組織に位置付けて、地域連携に関する計画立案、全学体制の構築等を担ってきました。また、徳島県と連携し、徳島地域連携協議会を組織して地域ニーズ発掘と大学シーズのマッチングを推進し、学長裁量経費による事業支援を通じて地域連携に資する本学の活動を支援してきました。

平成22年度からの第二期中期計画期間では、大学における地域連携活動を戦略的に推進するため、「地域連携戦略本部」を設置しました。そして、地域連携推進室を地域との橋渡し役と位置付け、特色あるまちづくりに取り組む地域創生センターと連携して社会貢献に取組む体制へと刷新しました。

平成24年度には地域連携戦略本部と地域連携推進室を統合して「地域連携戦略室」を設置し、副学長（地域連携担当理事）のもと、迅速に対応できる効率的な組織体制とし、より戦略的に地域連携を推進できるよう見直しを行いました。

平成25年度には全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進めるため、地域連携戦略室が策定する企画等に基づき、学部やセンター等毎に担当する専門分野、使命及び強み等を生かした取組に関して、全学的な連携と情報

の共有を図ることにより、本学が地域再生・活性化の拠点として有効に機能することを目的とした「徳島大学COC推進機構」を設置しました。

平成25年6月6日に、「第1回COC推進機構・総会」を開催し、各学部長等から各学部等の取組について説明の後、顧問の徳島新聞社植田社長及び徳島経済研究所田村専務理事から、『自分が承知していたことよりも遥かに多面的な取組をされていて感心した』、『「COC推進機構」が組織され、各学部等の地域連携の取組を「総会」で説明されることは非常に良いことだが、このような活動は学外に向かって情報発信していくことが、非常に大事なこと』、『マスメディアの取材を受けるだけでなく、徳島大学からも主体的に情報発信していくことが必要』等のコメントをいただきました。

平成26年4月までに徳島県、県内全ての市町村、徳島県市長会、徳島県町村会と連携協定を締結し、平成26年8月29日に開催した「平成26年度徳島地域連携協議会」には、全ての自治体に参画いただき、徳島大学が地域住民や地元企業・行政等と連携を図りながら地域貢献に取り組む「地域と共に未来へ歩む徳島大学宣言」を発出しました。

平成26年12月に連携協定を締結した徳島新聞社との連携事業として、地域で「まちごと」を実践している実業家によるコラボレーション企画を通じて、地域で「まちごと」を創り、実践する起業家を創る「まちごとファクトリー」事業を展開しています。

また、平成28年5月に連携協定を締結した徳島県信用保証協会が新たな仲間として加わり、地域を支える起業家が生まれています。

平成27年3月には、那賀町の「地域再生塾」、上勝町の「上勝学舎」、美波町の「徳島大学・美波町地域づくりセンター」に続く4つ目サテライトオフィスとして、県西部の2市2町（美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）を対象とする「にしあわ学舎」を三好市井川町に設置しました。

平成27年5月には、「フューチャーセンター機能を持った未来の学校」をコンセプトに、神山町に「神山学舎」を設置し、本学のサテライトオフィスは5ヶ所となりました。

地域連携戦略室の実施事業として、地域交流シンポジウムやタウンミーティングを開催し、大学と地域の連携活動を広く周知するとともに、地域での新たな課題解決に向けた活動へのきっかけづくりを行っており、平成16年度から毎年開催し、参加者は延べ3千5百人を超えています。

また、自治体等と大学教員等とのマッチング事業については、平成17年度からの11年間で要望が653件に上り、平成27年度のマッチング率は86.4%となっています。

平成18年度に開設した日亜会館内のガレリア新蔵では、平成28年度までの11年間で195回の展示会等の催しを実施し、延べ4万4千人の方に来場いただきました。

平成19年に地域連携の全学的実践組織として設立した地域創生センター（p.38）は、那賀町の地域再生塾、上勝学舎、徳島大学・美波町地域づくりセンター、にしあわ学舎、神山学舎など5ヶ所のサテライトオフィスを運営し、多彩な活動に取り組み、「地方の元気再生事業」などの大型プロジェクトの採択を得るなど、めざましい成果を上げています。

また、平成27年度に常三島キャンパスに新設された地域創生・国際交流会館の5階には、国立大学としては初めてフューチャーセンターを設置し、“多種多様な関係者が集まり、未来思考のアイデアや解決手段を見つけ出す”というコンセプトのもと、フューチャーセッション等、新たな地域貢献の取り組みを行っています。

また、下記の部局でも各々の使命のもと、地域との連携、学習、活性化への取組を実施しています。

①総合科学部（p.22）

総合科学部では、グローバル化や少子高齢化、健康社会づくり、地域活性化などの課題解決に取り組んでいます。部内の地域交流支援室では地域貢献事業をサポートしているほか、地域に開かれた公開セミナー「人文知・社会知への誘い」も実施しています。

②医学部（p.23）

医学部は、徳島県等の自治体や公的医療機関と連携した寄附講座を設置することによって、医師不足地域での診療支援体制の構築、地域医療の向上を目指した研究活動および地域医療への関心を高める医学教育に取り組んでいます。

③歯学部（p.24）

歯学部では、歯科医療だけでなく、口腔保健、福祉など

を横断的に活用し、行政、学校、各種団体と連携協働して、専門職の養成や地域課題の解決に向けた取組やサポートを実践しています。

④薬学部（p.25-26）

薬学部は地域貢献事業の一環として徳島大学臨床薬剤師交流ネットワーク事業、卒後教育公開講座事業、薬学部薬用植物園一般公開事業の3事業を継続的に行っています。前者の2事業は地域の薬剤師さんのスキル向上を、そして植物園開放は地域の皆さんに薬学への理解の向上を目的として行っているものです。

⑤理工学部（p.27）

理工学部では、災害対策、環境保全、地域産業の活性化等、理工学の各分野において地方自治体や企業等と連携し、地域課題の解決に向けた取組を展開しています。また、科学啓発を目的とした科学体験フェスティバル in 徳島や、研究シーズの発信を目的としたエンジニアリングフェスティバル等地域に開かれたイベントを開催しています。

⑥生物資源産業学部（p.28-29）

生物資源産業学部は「生物資源の生産、加工による新たな産業の創出に貢献できる人材」を育成することを目的としています。このため、徳島県や関係団体と連携して、アグリ、マリネ、フォレストの各サイエンスゾーンを構築し、徳島県の農林水産業の発展を目指しています。

⑦病院（p.30-32）

病院は、隣接する徳島県立中央病院との地理的条件を最大限に活かす「総合メディカルゾーン」構想により、徳島県との間で機能整備をはじめとした交流を深め、県内医療の拠点として様々な事業の推進に取り組んでいます。

⑧徳島県地域医療支援センター（p.33）

徳島県地域医療支援センターは、徳島県の委託により徳島大学病院内に設置され、地域医療を担う医師のキャリア形成支援と本県の医師不足の状況等を把握・分析し、医師の地域偏在の解消や医師確保の支援等を行っています。

⑨大学開放実践センター（p.34）

大学開放実践センターは、本学における生涯にわたる大学教育を推進し、それを支援する各種業務を開発するとともに、関連する調査研究を行っています。さらに公開講座を中心とする大学開放事業を行っています。

⑩情報センター（p.35）

情報戦略室の策定する基本方針のもと、情報基盤の整備・運営とセキュリティ確保を実施するとともに、本学における教育、研究及び運営に係る業務を円滑に遂行するため、情報教育、情報技術の研究開発及び各部局等における情報化の支援と情報サービスの向上を行っています。

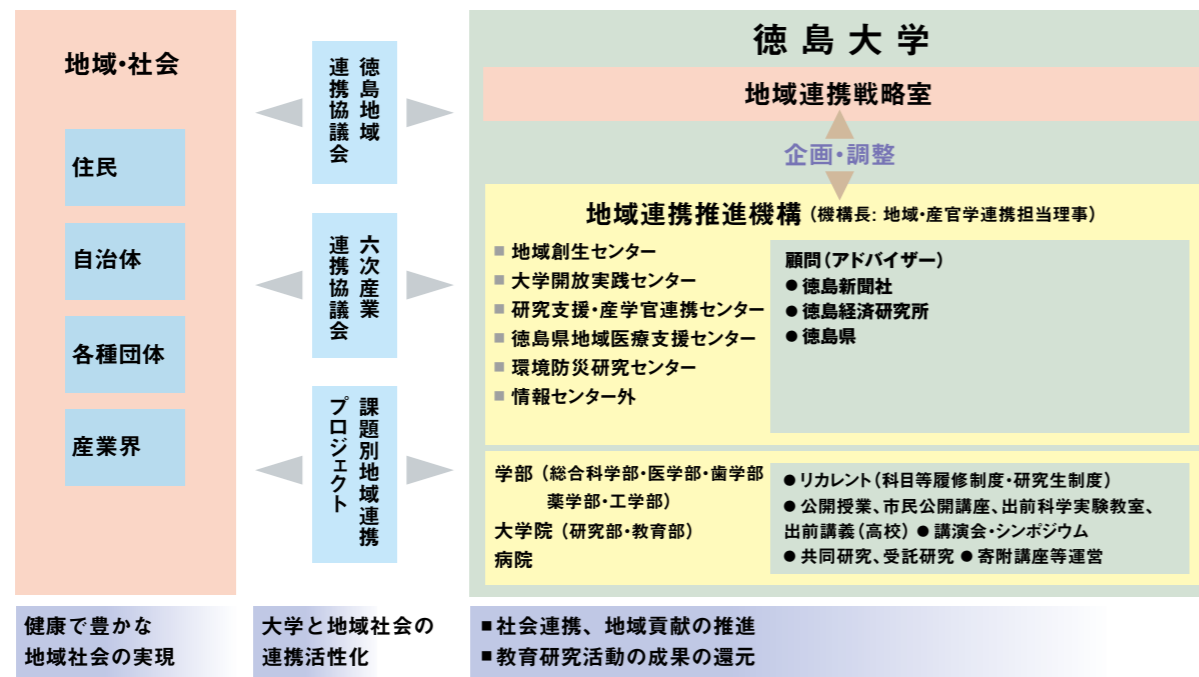
⑪国際センター（p.36）

留学生の受入支援等の業務と留学生教育（日本語教育、相談・指導支援）と国際化事業を推進し、地域の多文化交流事業などを実施しています。

⑫環境防災研究センター（p.37）

環境と防災に関する総合的研究を行うために設置され、地域の防災対策と自然環境の保全との両立のために、工

徳島大学における地域連携事業の推進体制(平成28年度)



学、理学、人文・社会科学、医学・薬学など広範な学術分野の有機連携と協働を進めています。

⑬ 研究支援・産官学連携センター (p.39)

研究支援・産官学連携センターでは、産業界との連携を図るため、企業からの技術相談等への対応、徳島大学の研究者及び研究シーズの企業への紹介、大学の知的財産の保護と活用、企業との共同研究等の支援、産業人材育成講座の開講など幅広く活動を行っています。

2. 平成28年度地域連携事業の取組

地域連携戦略室では、平成28年度も自治体ニーズ調査とマッチング、地域交流シンポジウム、タウンミーティング、ガレリア新蔵を活用した情報発信などの事業を継続し

て推進し、NPOや地域の方々からの直接の要望、相談を受け付けて、大学教員の紹介等を行っています。これらの活動から、大学の持つシーズを活用した地域発展につながる取組が生まれることを期待しています。

- ① タウンミーティング (p.7-8)
- ② 地域交流シンポジウム (p.9)
- ③ サテライトオフィスの取組状況 (p10.-14)
- ④ 徳島大学・明治大学・徳島県連携事業 (p15)
- ⑤ まちごとファクトリー (p.16)
- ⑥ LEDアート絆プロジェクト「徳島大学助任ワンダーランド」2016 (p.17)
- ⑦ TEDxTokushimaU開催による地域イノベーションプラットフォームの開発と国際的な情報発信 (p18)
- ⑧ ガレリア新蔵活動報告 (p19)

地域連携のワンストップ窓口

- 地域課題の解決や地域振興策などの立案・実施に際して、徳島大学に協力を要請したいとき
- 大学と共同で地域社会・地域住民に役立つ事業を実施したいとき
- 自治体・民間団体などで委員や講師を探しているとき
- 徳島大学の教育・研究内容を知りたいとき
- 徳島大学に相談や協力を要請したいが、どこに連絡したらよいかわからないとき

こうした場合には、地域連携のワンストップ窓口にご相談ください。地域からの相談や要望等を1つの窓口で受け付け、地域と大学の橋渡しを行います。

[地域連携のワンストップ窓口]

徳島大学研究・社会連携部地域創生課社会貢献係
〒770-8501 徳島市南常三島町1丁目1番地
(地域創生・国際交流会館 3階)
tel.088-656-9752 fax.088-656-9880
e-mail: chkoukenc@tokushima-u.ac.jp

地域と共に未来へ歩む徳島大学宣言

徳島大学は、徳島の地で、自主・自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、地域住民や地元企業、行政等と連携しながら、徳島県に所在する国立総合大学として地域課題と真摯に向き合い、地域の未来を心豊かで持続可能な社会とすることを最重要使命とし、次の基本方針に基づき全力で取り組み、地域と共に未来へ歩むことを宣言する。

基本方針

1. 地域課題の解決に挑戦する人材育成に取り組む
2. 地域産業のイノベーションに貢献する研究開発に取り組む
3. 地域医療・福祉の充実・発展に取り組む
4. 地域のグローバル化に取り組む
5. 地域文化の継承と発展に取り組む

平成26年8月29日

徳島大学長

新 征

徳島大学 地域連携戦略室 構成員

(平成29年3月現在)

室長	吉田 和文	理事 (地域・産官学連携担当)
副室長	高石 喜久	理事 (教育担当)
	永田 俊彦	理事 (研究担当)
室員	山中 英生	副理事 (地域連携担当)
	玉 真之介	副理事 (COCプラス担当)
	織田 聡	副理事 (産官学連携担当)
	谷 憲治	大学院医歯薬学研究部 (医学部)・教授
	金山 博臣	大学院医歯薬学研究部 (病院)・教授
	馬場 祐次郎	大学開放実践センター長・教授
	吉田 敦也	地域創生センター長・教授